

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22096	事業名	市制施行20周年記念事業		評価分類	B1				
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署				
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化			予算科目	会計				01:一般会計	
	基本施策	02:市民参画・交流活動の促進と協働の推進				款				02:総務費	
	施策の方向	02:市民交流・地域間交流の促進				項				01:総務管理費	
重点プロジェクト	-				目	01:一般管理費					
事業期間	R 5 年度 ~ R 7 年度		主な根拠法令等	亀山市表彰条例							

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	表彰条例において5年ごとの実施が規定される功労表彰及び特別表彰を行う必要がある。また、市制施行後、節目の年に市民とともに祝う事業を実施してきたことから、20周年においても市に対する愛着や誇りの醸成につながる記念事業を行う必要がある。	市民、市民活動団体、表彰対象者、本市に関わりのある人	市民や市民活動団体、本市に関わりのある人々と共に市制施行20周年を祝うことで、市に対する愛着や誇りが醸成され、まちづくりへの市民参画・交流が促進される。	市制施行20周年に向けた機運醸成のためのプレ事業、市制記念日当日の記念式典、年間を通して祝うための周年事業(他事業も含む)を実施する。 また、事業実施に当たっては、市民参画型とすることで市民の交流を図るとともに、市外の方にもPRすることで関係人口の創出にもつなげる。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○事業の計画、周年事業の検討	○事業の計画、周年事業の検討 ○プレ事業の実施 ○記念式典の開催 ○周年事業の実施	○周年事業の実施	
	活動実績 (計画通り実施できたか)		市勢要覧作成業務委託の契約を締結するとともに、カウントダウンスライドをはじめ市制施行20周年記念事業の検討を行い、事業スケジュールを含む計画を作成した。	プレ事業では、記念ロゴマークを公募し・啓発物等に活用したほか、市制施行日の50日前からカウントダウン動画・写真を公開し、機運醸成を図った。式典当日は功労者等表彰、公募メンバーを含めた特別編成による吹奏楽演奏、林家菊丸氏による記念寄席を行ったほか、市勢要覧とオリジナル菜の制作・配布、20年のあゆみ動画を放映した。その他、次年度の周年事業の調査・検討を行った。		
計画額	事業費		0千円	11,500千円	8,239千円	700千円
	国・県支出金				0千円	
	地方債				0千円	
	その他				0千円	
	一般財源			0千円	11,500千円	8,239千円
決算額	事業費		0千円		7,738千円	
	国・県支出金		0千円		0千円	
	地方債		0千円		0千円	
	その他		0千円		0千円	
	一般財源		0千円		7,738千円	
①期間内計画額(R4-7)		12,200千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	12,200千円

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	8,239千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	周年事業としての取組数	活動	取組	計画値			10	5
				実績値			8	
記念式典の来場者数	被表彰者、来賓、一般来場者の人数	成果	人	計画値			700	
				実績値			750	
				計画値				
				実績値				

判定	評価理由
⑤ 進捗度合 (C) A	記念ロゴマークの公募や、カウントダウン動画・写真に対する地域まちづくり協議会・市民団体・文化大使・園児等の出演協力、公募による中高生を含めた特別編成の吹奏楽演奏など、本事業を通じて市民参画や交流の促進を図ることができた。また、式典では功労者表彰(31人)、特別表彰(11人、14団体)を行い、市民や本市に関わりのある人々と共に20周年の節目を祝うことできた。そのほか、NHKのど自慢の開催希望申請など、市民参画・交流につながる周年事業の検討を行うことができた。
計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
市民、市民活動団体、表彰対象者、本市に関わりのある人	市民や市民活動団体、本市に関わりのある人々と共に市制施行20周年を祝うことで、市に対する愛着や誇りが醸成され、まちづくりへの市民参画・交流が促進される。

(再掲)

事業の進捗度合を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
本事業を契機に制作したロゴマークや市勢要覧、20年のあゆみ動画を一過性のものにするのではなく、可能な場面において積極的に活用することで、市制施行20周年の節目であることを市民等に周知し、まちづくりへの参画意識の向上を図る必要がある。また、市民等の周年事業への参加を促進することで、市民交流の活性化、まちに対する愛着・誇りの醸成につなげる必要がある。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 記念事業として、6月に市内外の人々が参加・観覧できるNHK公開番組「のど自慢」を開催するほか、他課においても冠事業を実施し、市民の交流促進を図る。また、広報紙や名刺におけるロゴマークの活用など、市制施行20周年の機運を醸成する。	令和8年度以降で対応するもの 令和7年度で事業完了。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴		A	A	
進捗度合				
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	政策部 広報秘書課 秘書GL 波多野 祐一
最終評価者	政策部 広報秘書課長 末崎 照美